

平成 19 年度 事業 報告 書

平成 18 年 3 月に策定した中期事業計画に基づき、事業の 3 本柱である「調査研究」、「情報収集・提供」、「人材育成・交流」の各部門において積極的な事業展開を図った。

また、事業の質的な向上、市民の施設利用の向上、事業の効率的・効果的な執行などに努めた。以下、平成 19 年度に実施した事業を報告する。

(事業報告の概要)

<p>1 調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋のまちづくりを種々の角度から調査研究するため、学識者、市民、行政など幅広い視点からの自主研究・受託調査を行った。 ・一般研究 7 件のうち 1 件は、大学教授（客員研究員）との共同研究である。 ・研究成果については、機関誌に掲載するとともに、ニュースレターやホームページで紹介するなど、積極的に情報提供を行った。 ・研究成果報告会を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 自主研究 <ul style="list-style-type: none"> ・一般研究 7 件 ・特別研究 2 件 ・市民研究 2グループ 8 名 (2) 受託調査 4 件
<p>2 情報収集・提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの関心を高め、理解を深めるために、まちづくり広場やまちづくりライブラリーを運営するとともに、様々な方法によりまちづくりの情報提供を行った。 ・まちづくりライブラリーでは、テーマを定めて所蔵している図書や資料を紹介する資料展を開催するなど、利用者増に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) まちづくり広場の運営 (2) まちづくりライブラリーの運営 (3) 機関誌の発行 3 回 (4) 広報紙の発行 4 回 (5) ホームページによる情報提供 (6) 歴史的資料の整理
<p>3 人材の育成・交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民のまちづくりへの関心を喚起し、人材を育成するとともに、交流の機会を設けるため、幅広く事業展開を図った。 ・子どもとまちづくりの視点から、夏休み期間中に参加体験型の企画展を実施するなど、企画展の充実を図った。 ・地域の“まちづくりびと”養成講座の内容の充実を図るとともに、まちづくり活動助成の新たな部門として、まちづくりに係る工事費を助成する「まち“夢”工事部門」を新設した。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) まちづくり支援 地域の“まちづくりびと”養成講座の開催等 (2) まちづくり活動団体の助成 18 件 (3) 企画展の開催 (4) 講演会・セミナー等の開催 (5) 賛助会員との交流 (6) 国際技術交流の実施 (7) まちづくり相談等の実施
<p>4 その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1) 会議室の貸出・喫茶の提供 (2) 施設の管理

1 調査研究

(1) 自主研究

・次の調査研究を行った。

調査研究 テ ー マ	平成 17 年度から平成 19 年度までのメインテーマ 「成熟社会における『元気都市の構築』」
一般研究	<p>名古屋のまちづくりや都市計画行政の課題を的確に把握し、名古屋都市センターの職員が中心となって、次の調査研究 7 件を行った。このうち 1 件は、大学教授（客員研究員）との、19 年度から 2 ヶ年にわたる共同研究である。</p> <p>（研究テーマ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活圏域の基礎的研究（その 2） ・志段味地区におけるまちの将来像に関する調査研究 ・成熟社会における持続可能な居住地形成に関する調査研究 ・大邸広域市・名古屋市の都市比較による調査研究 ・P F I に関する調査 ・2050 年の名古屋のまち ・デジタル地図による都市の変遷把握手法の検討 <p>平成 18 年度の研究成果について、特別研究成果と併せて 8 月 1 日に名古屋市職員等を対象に報告会を実施した。</p>
特別研究	<p>メインテーマである「成熟社会における『元気都市の構築』」を踏まえ、最近のまちづくりに関するキーワード（「協働」「交流」「持続可能」「都市景観」）を提示し、公募・選考の上、大学等の若手研究者 2 名を特別研究員として委嘱し、次の研究テーマについて調査研究を行った。</p> <p>（研究テーマ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の視点を考慮した交差点設計・運用評価のメカニズムの検討 ・既成市街地の都市空間の協働的・持続的マネジメントに関する研究 <p>平成 18 年度の研究成果について、一般研究成果と併せて 8 月 1 日に名古屋市職員等を対象に報告会を実施した。</p>
市民研究	<p>平成 17 年度から 19 年度までの研究テーマを「私たちの住む街なかの『魅力資産』の再発見とユニーク活用アイデア」とし、名古屋市内を 8 区域に分け、各年度で公募・選考を行い、市民の視点からフィールドワークを中心とした調査研究を行った。</p> <p>平成 19 年度は、次の 2 グループ 8 名を市民研究員として委嘱し、グループ活動により調査研究を行った。</p> <p>グループ 1（中区・中村区） 4 名 グループ 2（南区・緑区） 4 名</p> <p>平成 18 年度の研究成果について、5 月 19 日に市民等を対象に報告会を実施した。</p>

(2) 受託調査

- ・名古屋市から、まちづくりに関する各種調査研究等を4件受託した。

(3) 都市政策研究会の開催

- ・学識者、企業、行政などの第一人者が参加し、都市政策や地域政策、まちづくりのあり方を探求する都市政策研究会を2回開催した。

2 情報収集・提供

(1) まちづくり広場の運営

- ・名古屋のまちづくりの足跡、まちづくりの方向性などを紹介する常設展示コーナーを運営するとともに、常設展示の更新に向けた検討を行った。
- ・都市センター主催の企画展示を行うとともに名古屋市、大学、団体、企業などがまちづくりに関するテーマを設けて紹介する企画展示コーナーの運営などを行った。

来館者：44,605名

(2) まちづくりライブラリーの運営

- ・まちづくりに特化した専門図書館を運営し、まちづくりの専門家、まちづくりに関心のある市民に図書の閲覧、貸出を行うとともに、名古屋に関連する図書について歴史図書を中心に収集するなど、図書資料の継続的な収集整理を行った。

利 用 者 数	27,272名	
登 録 者 数	2,097名	
貸 出 数	4,147冊	
収 集 図 書	一般図書	1,490冊（累計 26,509冊）
	調査報告書・行政資料	1,118点（累計 17,408点）
	定期刊行物	250誌

- ・テーマを定めて所蔵している図書や資料を紹介する資料展を開催するなど、利用者数の増に努めた。

特 集 コ ー ナ ー	期 間
名古屋いま・むかし物語	3/4～5/6
古地図展	5/9～5/13
都市景観賞	5/15～6/15
名古屋の近代建築	6/16～9/4
「中部のみち」写真展	8/14～8/19
地震・台風・・・災害展	9/5～10/14
フランク・ロイド・ライト	10/16～12/17
昭和10年代の名古屋の風景 - 人とまち -	12/18～2/25
御船御行列之図	2/26～5/18

(3) 機関誌の発行

- ・編集方針等の見直しにより、誌面の充実を図った。
- ・まちづくりに携わる広範な人々の論文、都市センターの研究成果、名古屋のまちづくり情報などを紹介する機関誌「アーバン・アドバンス」を発行した。

号	テ - マ
第 43 号	地震への備え
第 44 号	都市生活と健康
第 45 号	子ども・学生とまちづくり

(4) 広報紙の発行

- ・名古屋都市センターの活動、名古屋のまちづくりの動きや新しい話題をわかりやすく紹介する広報紙「ニュースレター」を発行した。併せて、ホームページにもニュースレターの内容を掲載した。また広告掲載により、広告料収入の確保に努めた。

号	特 集 記 事
第 72 号	名古屋港開港 100 周年を迎えて 「きらめき愛される港」への新たな船出
第 73 号	名古屋のまちづくりを育てた名古屋城と城下町
第 74 号	揚輝荘を中心に魅力アップがすすむ覚王山地区
第 75 号	動き始めた「ささしまライブ 24 地区」のまちづくり

(5) ホームページによる情報提供

- ・名古屋都市センターの事業内容、これまでに行った調査研究の紹介、まちづくりデータや市民活動団体の紹介などのまちづくり情報の提供を引き続き行うとともに、まちづくり団体の活動情報などを提供する「まちづくりネット」や賛助会員向けに都市センターの活動情報をより詳しく提供するための「賛助会員」のページを創設した。
- ・まちづくりライブラリーの利用の便を図るため、図書検索システムの運営を引き続き行った。

アクセス数：466,834 件

(6) 歴史的資料の整理

- ・市史編纂業務を引き続き行った。

- ・(財)民間都市開発推進機構の拠出金(5,000万円)を原資に、まちづくり活動団体が、地域を魅力的で住みやすい環境とするために、地域の特性や資源を活かし、「自分たちのまちを自分たちでつくる」活動に要する設計費・工事費を助成する、「まち“夢”工事部門」を新設した。その第1次公開選考会を7月15日に、第2次公開選考会を翌年2月17日に開催し、まちづくり基金運用委員会による審査を経て、次の団体が提案した工事への助成を決定した

部 門(団体数)	助 成 団 体 名
まち“夢”工事部門 (応募15団体、助成4団体)	特定非営利活動法人まちの縁側育くみ隊、 特定非営利活動法人揚輝荘の会、 那古野一丁目町づくり研究会、平針南学区連合自治会

- ・平成18年度に助成を受けた団体による活動成果報告会を5月19日に実施した。
- ・平成20年3月1日には、これまでに助成した団体に呼びかけ、まちづくり活動団体交流会を実施した。21団体の参加により、積極的な情報交換を行った。

(3) 企画展の開催

- ・企画展示コーナーにおいて、名古屋のまちづくりに関連する企画展示を次のように行った。

展 示	主 催 者	期 間
名古屋いま・むかし物語	(財)名古屋都市センター	3/4～5/6
まちづくり活動助成団体・市民研究報告パネル展	(財)名古屋都市センター	5/10～6/2
東海学生卒業設計コンクール2007	(社)日本建築家協会東海支部	6/5～6/24
「日本の環境首都コンテスト」パネル展	特定非営利活動法人環境市民	6/26～6/30
Bism 愛知工業大学建築工学科(B科)のDNAを探る	Bism 実行委員会	7/3～7/22
都市環境デザイン会議 活動紹介パネル展示	都市環境デザイン会議	7/10～7/21
だがねランド2007	(財)名古屋都市センター	7/24～8/26
観光名古屋の魅力を探る～市民が選んだ新名古屋八景～	堀川文化を伝える会	8/29～9/9
住まいのホームドクター/設計者の会パネル展	特定非営利活動法人住まいのホームドクター/設計者の会	9/11～9/24
名古屋開港100周年記念「名古屋の都市づくりと名古屋港の産業遺産」展	中部産業遺産研究会	9/26～10/21

団地再生卒業設計賞（名古屋展）	(社)都市住宅学会中部支部住宅再生部会 名古屋建築会議 団地再生研究会	10/23～11/4
眠れるウォーターフロント 中川運河第2回フォトコンテスト作品展	特定非営利活動法人 伊勢湾フォーラム	11/6～11/25
子ども達のアート・国際交流展 in 愛知	特定非営利活動法人 ドリーム・コンプレックス	11/27～12/2
写真で散策 広小路通のいま・むかし	(財)名古屋都市センター	12/5～1/6
全国大学・高専卒業設計展 2007	(社)日本建築学会東海支部	1/8～1/13
「あなたの街の国有財産」展	東海財務局	1/16～1/27
名古屋市ささしまライブ 24 地区開発提案 競技 最優秀提案展示会	名古屋市	1/29～2/3
名古屋市都市景観賞表彰作品展	名古屋市	2/5～2/11
都市緑化技術展	名古屋市 (財)名古屋市みどりの協会 (財)名古屋都市センター	2/13～3/9
空から見た“大都市名古屋”展	(財)名古屋都市センター	3/12～5/11

(4) まちづくり講演会、セミナー等の開催

- ・市民やまちづくりに関わる実務者を対象にし、まちづくり講演会、セミナー等を開催した。

ア まちづくり講演会

テ - マ	講 師	開催日	参加者
歴史から見た名古屋のまちと 名古屋城	作家 井沢元彦	11/18	148名
人をひきつける街	基調講演 早稲田大学特命教授 伊藤滋 座談会「名古屋のまちの真の魅力を引き出すために」 早稲田大学特命教授 伊藤滋 東和不動産(株)代表取締役社長 神尾隆 コーディネーター 稀温 司会 (株)都市研究所スペース 代表取締役 井澤知旦	2/6	287名

イ まちづくりセミナー

テ - マ	講 師	開催日	参加者
成熟社会における社会資本整備のあり方	成熟社会における社会資本整備のあり方研究会（代表 岐阜大学地域科学部教授 竹内伝史）	6/22	88名
特別セミナー 人間都市クリチバ都市計画の思想と実践	元ブラジル・パラナ州環境・水資源局長、元クリチバ市環境局長 中村ひとし	7/11	112名
ミュンヘン市における都市再生と中心市街地活性化	ミュンヘン市都市計画・開発設計部長 ヴァルター・ブーザー	12/ 5	76名
鉄軌道と都市づくり 内外の事例に学ぶ	日本大学理工学部客員教授 矢島 隆	1/30	63名

ウ その他シンポジウム等

(ア) 主催事業

テ - マ	開催日	参加者
平成 18 年度まちづくり活動助成団体・市民研究員活動成果報告会	5/19	53名
まちづくり幻燈講演会 「人もまちも元気になる居場所“まちの縁側”づくり」	5/26	43名
地域の“まちづくりびと”養成講座特別講演 「まちづくり～今こそローカルリズム～」	11/ 3	70名
まちづくり活動団体交流会	3/ 1	34名

(イ) 他団体主催事業

テ - マ	主 催 者	開催日	参加者
(社)日本都市計画学会中部支部 平成 19 年度 通常総会	(社)日本都市計画学会中部支部	4/21	70名
専門図書館中部地区協議会 総会・特別講演会	専門図書館中部地区協議会	6/14	40名
税とまちづくりに関する講演 会・税に関する作品表彰	熱田納税貯蓄組合連合会	11/17	60名
まちづくり支援建築会議とまち づくりセミナー	(社)日本建築学会東海支部都市計画委 員会 まちづくり支援建築会議	12/ 8	90名

いきいきなごやっ子づくりシンポジウム～子どもが主体的に参加する遊び場づくり	いきいきなごやっ子づくり研究会 名古屋市	12/ 2	150 名
都市計画系研究室紹介大会	(社)日本都市計画学会中部支部	1/10	80 名
「WTC事件後のニューヨークダウタウン地域の復興における諸機関の連携体制」講演会	(社)地域問題研究所	2/20	60 名
名古屋ため池調査(東山新池)報告会・名古屋の棲息生物調査報告会 2006	名古屋ため池調査実行委員会 名古屋の棲息生物調査実行委員会	2/23	80 名
金城学院くらしの講演会「21世紀の住まいと地域生活」	金城学院大学大学院人間生活研究科 金城学院大学消費生活科学研究所	3/15	100 名
日本都市計画学会中部支部国際交流セミナーの開催	日本都市計画学会中部支部	3/27	30 名

(5) 賛助会員との交流

- ・賛助会員を対象に、まちづくり見学会を行うとともに、センター役職員と賛助会員との交流、賛助会員同士の交流を図るため、交流会を実施した。

内 容	開催日	参加者
まちづくり見学会(開港100周年を迎える名古屋港)	11/ 6	24 名
賛助会員交流会	12/ 5	27 名

(6) 国際技術交流等の実施

- ・まちづくりに関する国際技術交流として、国際協力機構(JICA)の研修を次のとおり行った。また、海外からの視察1件についても対応した。

研 修 内 容	期 間	参加者
集団研修「都市整備実務コース」	5/30～7/20	16 名

(7) まちづくり相談等の実施

- ・来館者に対するまちづくり相談を実施するとともに、小・中学生や市民の方々への館内施設の紹介等を25件行った。

館内施設の紹介等

	幼稚園	小学校	中学校	その他	全体
件数(件)	1	5	11	8	25
人数(人)	23	255	76	97	451

- ・大学生のインターンシップ、中学生の職場体験の場として学生・生徒を受け入れ、都市センターの職務内容への理解を広めた。

	大学生のインターンシップ	中学生の職場体験
件数(校)	4	4
人数(人)	4	8

4 その他

(1) 会議室の貸出・喫茶の提供

- ・会議室の貸出

14階の会議室は、平均53.2%の利用率であった。

会議室利用区分別使用率

午前(9時～12時)	午後(13時～17時)	夜間(18時～21時)	全体
42.2%	70.2%	45.4%	53.2%

- ・喫茶の提供

交流サロンにおいて、喫茶の提供を行った。

(2) 施設の管理

- ・名古屋都市センターの施設について名古屋市から受託管理した。